



学校教育目標

自ら学ぶ子

5月号 令和3年4月30日

ころ な か なか ウイズ ころ な いま
コロナ禍の中で ~With コロナ の今 ~

ふくこうちょう ながしま まゆみ
副校長 長島 真弓

さくねんど しんがたころなういるす たいおう お ねんかん さくねんど にゅうがくしき
昨年度は、新型コロナウイルスの対応に追われた1年間でした。昨年度の入学式には、
ねんどない しゅうそく しんじ こんねんど にゅうがくしき たいおう ちゅうりやく かんが
年度内の終息を信じ、まさか今年度の入学式もこの対応に注力するものとは考えてもみ
ませんでした。変異株の出現で、再び、私たちの生活は、脅かされています。

かんきょう ととの だいがく がくせい なか たいめんじゅぎょう ともだち
オンライン環境の整っている大学などの学生の中には、対面授業ができず、友達すら
ひめい あげ ひと たいへん にゅうがくしけん とっば にゅうがく がくしゅういよく 礼な
できないと悲鳴を上る人、大変な入学試験を突破しせっかく入学したのに、学習意欲を失
たいがく かんが ひと き しょうがっこう こ ふじゆう
い退学を考えている人もいと聞きます。小学校の子どもたちにとっても、不自由なことが
おお おも わたし せいやく なか きょういくかつどう かん とく ひと
多いと思います。私も制約の中での教育活動にもどかしさを感じてきました。特に、人との
ばめん せいちょう きかい たの うば こ ともだち もう わけ
かわりの場面では、成長の機会や楽しみを奪ってしまったようで、子どもたちに申し訳な
おも
い思いさえしていました。

でも、この1か月間、子どもたちと触れ、そんな思いは、減少しつつあります。それは、子
かくじつ せいちょう すがた おお め ともだち かお すがた
どもたちが確実に成長している姿を多く目にするからです。①しっかりと友達顔や姿を
み とき ことば つか かか わ あそ ばめん せしよく
見て、時には言葉を遣って関わりあい、分かりあっています。②遊びの場面、接触ができな
せいやく なか たの み えがお やす じかん す きゅうしょくじ
い制約の中、楽しみを見つけ、笑顔で休み時間を過ごしています。ほかには、給食のマ
まも すがた しゅうだんどうこう みち ある すがた かんせんぼうしたいさく おこな りっぱ
ナーを守る姿や集団登校で道を歩く姿は、感染防止対策をしっかりと行い、立派です。
やくそくごと ひつよう とき まも しょうめい
約束事は必要な時にはしっかりと守れることを証明しています。

こ すがた み じぶんじしん み まも かんが じかん つか
こうした子どもたちの姿を見て、自分自身の身を守るために、考えたり時間を使ったり
どりよく どうじ まわ ひと おも きも よゆう こうどう
て努力をすること、同時に、周りにいる人のために、思いやりや気持ちの余裕をもって行動
じょうず くきょう の き み つ かんが
することなど上手に苦境を乗り切るすべを身に付けることができたと考えていくことにしました。

わたしじしん か ひていてき やく た よ けいけん
私自身がコロナ禍を否定的にとらえず、これから役に立つ良い経験ととらえることがで
どりよく おも
きるように努力していきたいと思っています。

必要な時に必要なことができる、対応することができる子の力こそ、これからの生活に役に立つ、身に付けなければならない能力ではないでしょうか。私は、以前のような生活がいつできるようになることを切望し、そのために我慢をしてきました。これからは、我慢ではなく、子どもたちのように、上手に適応していきたいと考えています。

私たち教職員は、いろいろなアイデアを出し合って制約の中でも教育効果を上げていられるように考えてきました。

学校での対応について、保護者の方々には、たくさんのご心配やお手数をおかけしたことは承知しています。いつも理解し協力してくださってきたことに心より感謝しています。